

農林水産委員会

農業改革の取り組みは
県営農業支援センターを設置

問 鳥インフルエ
ンザの終息宣言の
見通しは。

答 鳥インフルエ
ンザは次から次へ
と拡大してこの時
期に至っている。
監視鶏約二百五十
万羽の焼却処理を
開始しているが、
四月中には処理が
終了できるものと
考えている。

問 現在、県内の
直売所は飽和状態
にあり、中には購
入品を販売するよ
うなところも出て
きた。鮮度の良い
完熟物を出すなど
基本を守るよう指
導すべきでは。

答 直売所では女
性農業者が中心となつて非常に
頑張っているところもある。現
在、県農業改良普及センターな
どで研修を実施しており、今後
もお客様の視点に立った販売を
心がけるよう指導していきたい。
問 農業改革に対する今後の取
り組みについて伺う。

答 農産物販売推進東京本部の
設置により販売を推進する体制
ができた。平成十八年度は県と
JAグループが一体となった県
営農業支援センターを設置し、
競争力のある産地づくりをさら
に進め、農産物産出額全国第二位
奪還を目標に、今後も農業改革



JA北つくば協和直売所などで野菜や花の直売を
行っている協和アグリミセス連絡会の皆さん

を進めていきたい。

問 いばらきの魚販売促進事業
の今後の取り組みについて伺う。

答 主要消費地市場では茨城産
の魚の取扱量は少なく、評価も
低い。平成十八年度は、まず地
元の評価アップを目指し、沿海
地区漁業協同組合連合会を中心
として、茨城産を県内のどこに
行けば食べられ、買えるのか、
地魚取扱店制度の普及を図りた
い。

(ほかに、県北地域に視点を
おいた農業振興策、畑地帯総合
整備事業の効果なども質問)

土木委員会

木造住宅耐震診断士の必要数は
平成十八年度までに六百名養成

問 借上型県営住宅をTX駅前
に建設する必要性があるのかと
いう意見が地元では出ているが、
この場所を選定した理由は。

答 借上型県営住宅はTX沿線
開発の起爆剤として四つの駅の
周辺2km以内で募集したが、結
果的に応募があったのが一社か
らで場所が万博記念公園駅前だ
った。

問 県内の木造住宅耐震診断士
は現在何名いるのか。また、今
後どれくらい必要だと考えてい
るのか。

答 現在、四百二十七名が登録
している。昨年、新たに茨城県
南部地震の区域が指定され、そ
の区域が県北の一
部を含む三十六市
町村となったこと
を踏まえ、県内全
域で約六百名の診
断士が必要である
と考えており、平
成十八年度までに
養成する。

問 常陸那珂港な
どの経済効果を県
北山間部に波及さ
せるためには、常
磐道から先の山間
部へのアクセス整
備が必要と考えるが。

答 常磐道から国
道一八号までの
区間が、茨城北部
幹線道路として地
域高規格道路の候
補路線に入ってお



建設が進む借上型県営住宅(万博記念公園駅前)

り、その区間の一部として木
島橋を整備中であるが前後のル
ートは未定である。

問 潮来市の前川に排水機場を
設置するように国に陳情してい
るが、現在の国の状況は。

答 国からは平成十八年度に
調査設計を行うと聞いている。
この中で、ポンプの位置や形式
等について地元の意見も聞きな
がら検討していきたいというこ
とであり、実質的にポンプ設置
がスタートすると考えている。
(ほかに、若草大橋完成に伴う
渋滞緩和のための道路整備、会
社法改正に伴う建設業者の手續
なども質問)

文教治安委員会

不審者情報のメール配信は
個人への配信も可能に

問 子ども
を守る観点
から、警察
で不審者情
報の迅速な
提供が不可
欠である。

関係団体の
代表者のみ
ならず、個
人に対しても
メールで
配信すれば、
よりきめの
細かい対応
ができるか
と思うがどう
か。

答 現在は、多数のアドレス管
理が困難なため配信先を限定し
ているが、平成十八年度に予定
している犯罪発生情報ネットワ
ークの整備後には、個人への配
信も可能となる。

問 第四次行財政改革大綱で、
平成二十二年度における警察官
の人数が示されたが、これは概
ねの目標ということか。

答 警察官一人当たりの負担は、
全国平均に比べ、いまだに多い
状況である。厳しい財政状況
の中ではあるが、さらなる増
員により、体制の強化と県民
の体感治安の向上に努めてい
きたい。

問 平成十九年度から県立高校
で道徳が必修となるが、その準
備は。また、地域の先達や歴史
なども取り入れてはどうか。



不審者情報のメール配信テスト画面

答 平成十八年度の前半に、指
導資料や準教科書を作成し、後
半は指導する教員の研修など
を行っていく。また、地域の先達
や歴史などを生かしていくこと
も重要と考えている。

問 高卒者の離職率が高い状況
であり、子どもたちに生きる力
が身につけていないのではない
かと思うがどうか。

答 中学校での職場体験、高校
でのインターシップ等を行っ
ているが、社会に適應する能力
を身につけるキャリア教育を行
っていく必要があると考えてい
る。

(ほかに、高齢者交通事故防止
対策の強化、県立高等学校再編
整備計画の円滑な推進なども質
問)